



鶴田町長
相川 正光

年頭にあたたつて

謹んで年の初めのお祝いを申し上げます。皆さまには、すがすがしい新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

昨年を振り返りますと、全国的に台風などに起因する風水害、土砂災害や地震など、多くの自然災害に見舞われた年でありました。本県におきましても複数の台風が接近したため、農作物への影響が懸念されましたが、当町では幸いにも被害は最小限でありました。

町の基幹産業であります農業において、水稲につきましては、8月中旬以降の日照不足により、登熟調査では「やや不良」となりましたが、もみの全体数が「やや多い」との判断から作況指数は津軽地域では「100」となり、ほぼ平年並みの出来となりました。価格では、「青天の霹靂」、「つがるロマン」、「まつしぐら」がそれぞれ17年産から500円引き上げられ、稲作農家にとりましては、まずまずの出来秋となりましたが、

水稲農家はたび重なる国の米政策の転換により、不安定な経営を強いられており、より安定した農家所得が得られるよう、国、県への働きかけが必要であるものと考えております。

リンゴでは、台風などの影響により収穫時期に多少の遅れが見られました。主力品種のふじは着色が若干薄くはなったものの、玉伸びは良く品質は良好なものとなり、価格も堅調に推移しました。県産リンゴの販売額は17年産まで4年連続で1千億円を達成しており、依然として好調な輸出や国内市況から判断すると18年産リンゴにおいても期待できるものと考えております。

スチューベン日照不足や多雨の影響で、品質に多少のばらつきがあったもののまずまずの出来でした。昨年も開催された、「日本一スチューベンぶどう祭り」や「観光ぶどう園」には、県内外から多くの観光客が訪れており、当町の

新たな観光資源としても期待しているところです。今後大都市圏におけるトップセールス、各種イベントなどにおいてスチューベンのPRに努めてまいります。

また、道の駅つるた「鶴の里あるじや」は、国の地方創生拠点整備交付金を活用して機能強化を図り、4月にリニューアルオープンすることができました。あるじや本体にはプロトン急速冷凍設備、大豆・米加工施設ではイートインコーナーを増設しました。新設した農産物直売所では、これまでの約2.5倍の面積を確保し、イベントホールや観光案内所を備え、機能性の向上が図られました。

さらに現在は、既存の農産加工センターが老朽化していることから、同じく地方創生拠点整備交付金を活用し、道の駅敷地内に整備を進めております。新農産加工センターは、製造ラインを増強し、生産性が高まるとともに新商品の開発、製造が可能になる予定です。

今秋の稼働を目指しております。道の駅は、町の地方創生の中核を担う拠点施設として、より一層の交流人口の増加が図られ、農家所得の向上と地域の活性化につながるものと期待しております。

統合小学校につきましては、学校給食共同調理所とともに昨年9月に建設工事に着工し、平成32年4月の開校に向けて急ピッチで進められています。建設現場周辺では何かとご不便などをお掛けすることとなりますが、ご理解、ご協力をお願い申し上げます。

また、小学校統合に際して必要な事項につきましては、統合小学校準備委員会において、検討・協議を進めております。町民の皆さまをはじめ関係各位と連携を密にし、町の将来を担う子どもたちの教育環境の充実に取り組んでまいります。

さて、昨年7月31日に告示された鶴田町長選挙において無投票当選という栄に浴することができ、

引き続き鶴田町長の重責を担うことになりました。私は二期目の立候補にあたり、まちづくりの方向性として『仕事と暮らしを支える町』、『健康で長生きできる町』、『次世代を育成する町』の三つの柱を掲げさせていただきました。町民の皆さまが幸せを感じられるよう、これらのまちづくりの実現に向けて、さまざまな施策を進め、「常にチャレンジ」する心構えで、町政運営に邁進してまいります。ごぞいます。

本年も、町民の皆さまと共に知恵を出し合い、安全で安心して生活できるよう、「健康で共に支え合う住みよいまちづくり」を実現するため、誠心誠意努力してまいりますので、なお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに本年も皆さまにとりまして健やかで幸多い年でありますようお祈り申し上げ、新年のあいさつといたします。



鶴田町議会議長

松山 明

初春を迎えて

明けましておめでとうござい
ます。

町議会を代表いたしまして、謹
んで新年のご挨拶を申し上げます。
市民の皆さまには、希望に満
ちた輝かしい新春をお迎えのこと
と心からお喜び申し上げます。ま
た、常日頃より議会活動に温かい
ご理解とご協力を賜り、厚くお礼
申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、大
阪北部地震・西日本豪雨災害・北
海道東部地震、また夏の酷暑や
台風による関西国際空港の水没被
害など大きな自然災害が多発した
年でありました。日本は地震国で
あることに加え、地球温暖化の影
響が年々自然災害が増えているよ
うに感じられます。当町でもリン
ゴの収穫を間近に控え、台風に見
舞われましたが、限定的な被害に
とどまったことに安堵していま
す。今後、議会といたしましても、
国による防災対策の強化を要望し

てまいります。

一方、平昌オリンピックでの日
本選手の活躍、サッカーW杯では
決勝トーナメント進出、テニスの
全米オープンで大坂なおみ選手が
優勝、米大リーグでは大谷選手が
新人賞を獲得するなど、スポーツ
界では嬉しいニュースがあふれた
年でした。我々応援する側も非常
に盛り上がりましたし、市民の皆
さまも夢と希望を感じたことと思
います。

町に目を転じますと、4月には
道の駅つるた「鶴の里あるじや」
がリニューアルオープンいたしま
した。農産物直売所が新築され、
約2.5倍の売り場面積を確保し、
観光案内所が設置されました。ま
た、大豆・米加工施設内にイート
インコーナーを増築、急速冷凍室
を整備するなど、「あるじや」の
機能充実が観光客の増加や農家所
得の向上、ひいては地域全体の活
性化につながるものと期待してお

ります。

さて、町にとって長年の課題で
あった統合小学校の建設について
は、これまで行政と議会が一丸と
なつて取り組んできた大事業であ
ります。おかげさまで、9月17日
に安全祈願祭が執り行われ、9月
24日に工事着工となりました。こ
れもひとえに市民の皆さまのご理
解と関係者各位のご協力のたまも
のと、心から感謝申し上げます。

町の基幹産業である農業です
が、コメについては各品種とも昨
年より500円程度の引き上げに
なつたようです。収量について、
農水省による作況指数は100の
「平年並み」とされましたが、米
農家からは軒並み収量が落ちてい
るとの声が多く、統計と実態に乖
離が生じているようです。生産者
に不利益が及ばないよう、対策が
望まれます。

リンゴは黒星病感染が拡大し、
防除対策に明け暮れた一年となり

ましたが、農家の努力により収穫
量としては、平年並みを確保した
ものと思われまます。また、台風21
号、24号、25号と多くの台風に見
舞われましたが、被害は限定的で
大きな落下被害にならなかったこ
とが救いでした。競合する果物の
流通量が少ないとの報道もあり、
今後とも高値相場で推移していく
ことを期待しております。

スチューベンについては、園地
によつて着色にばらつきがあつた
ものの、食味は良好で収穫量は平
均並みかやや上回つたと聞いてお
ります。昨年もあるじやでの「日
本一スチューベンぶどう祭り」や
青山副知事への表敬訪問、首都圏
でのトップセールスなど、相川町
長を先頭に関係機関一丸となつた
PR活動が展開されていますので、
冬の場の販売に期待をしている
ところです。

農業現場では、生産者の高齢化
に伴う労働力不足が大きな問題と

なつています。国も対策に乗り出
すようですが、現場に即した対応
を要望してまいります。

町政においては人口減少と少子
高齢化への対応、地域の特性を活
かした産業の振興、中心街の活性
化など課題が山積しております。
市民福祉の向上と安全安心な生活
は、議会に課せられた大きな仕事
だと認識しています。議会は二元
代表制の一翼として、市民の総意
を町政に反映させる重要な役割を
担っております。議員一同、市民
の皆さまのご期待に応えるよう全
力を尽くしてまいりますので、な
お一層のご支援、ご指導をお願い
申し上げます。

結びにあたり、本年が市民の皆
さまにとりまして実り多い年とな
りますよう、心からお祈り申し上
げ、新年のご挨拶といたします。